

★緊急パネルディスカッション★

大規模災害 南海トラフ地震に備えて ～そのとき酸素はどうする?～

在宅酸素から院内酸素供給まで

日時 2015年12月10日(土) 13:00～14:00 場所 名古屋第1赤十字病院 内ヶ島講堂
〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地 TEL 052-481-5111(代表) FAX 052-482-7733(代表)

2011年東日本大震災以降、熊本、鳥取など本邦では比較的大規模の地震・災害が頻発する状況となっています。DMATをはじめ本邦でも様々な災害時医療に注目が集まり、大規模災害について様々な対策が各地域で策定されるようになってきています。しかし一方で、これらの災害の中で最も多大な被害をうけるのは在宅酸素や気管切開、在宅人工呼吸など災害弱者の方たちであるのも事実です。残念ながら現在ではこれら災害弱者をいかに対応するかについて十分な議論が進んでいない実情もあります。今回東海RST協力会では院内外を問わず、災害時における「酸素」をどうするのか、緊急パネルディスカッションを行い、議論を深めてみたいと思います。どうぞふるってご参加ください。

座長 名古屋第1赤十字病院呼吸器内科

横山 俊彦 先生

公立陶生病院臨床工学部

樋口 知之 先生

13:00～13:30

「災害時の医療ガスは？災害時の医療ガス供給対策について」

講師 聖隷浜松病院 臨床工学室

西條 幸志 先生

「在宅酸素患者における災害対応 大規模災害訓練を通じて」

講師 公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科

横山 俊樹 先生

「大規模災害時の酸素供給・患者確認システムについて」

講師 帝人在宅医療株式会社

13:30～14:00

フリーディスカッション、質疑応答